

ウェルカム ガイド

落水検知ユニット NDS-3000



^{落水検知ユニットをスマホに登録して、水につけてみよう} 海に行く前に、まずお試しください

簡易取扱説明書 Rev.2023-09

JM-Safety 落水検知のしくみ

本機能は、落水検知ユニットで落水のおそれを検知した際、 Bluetooth®通信にてJM-Safetyアプリがインストールされたス マートフォンへ通知し、事前登録した通知先へインターネット経 由でお知らせするものです。落水検知ユニットは、落水検出端 子に一定時間、水が触れることにより落水を検知します。

落水検知ユニットの各部名称



JM-Safetyアプリのインストール

本サービスをご利用するにあたり、スマートフォンやタブレットへ JM-Safetyアプリをインストールしていただく必要があります。 JM-Safetyアプリについては、以下のリンクを参照ください。





Android™





ご使用の前に本書と<u>JM-Safetyオンラインショップ利用</u> <u>規約</u>、および<u>JM-Safetyアプリ利用規約</u>等をよくお読 みのうえ、正しくお使いください。



JM-Safetyサービスは、落水事故のおそれがある時の 早期発見や早期救助、航海の安全を支援する安心 の提供をめざす補助として使用するものであり、事故に おける法的証拠としての効力、危険回避、人命救助 などの安全を保証するものではありません。



落水検知ユニットを用いても、利用状況や通信状況に よっては、完全に落水を検知および通知することはでき ません。



落水検知ユニットは、お客様自身で分解しないで ください。正常動作しないおそれがあり、分解された 場合は保証の対象外となります。



JM-Safetyサービスおよび落水検知ユニットのご使用 は日本国内のみとさせていただいております。



本サービスをご利用するにあたり、スマートフォンやタブ レットへJM-Safetyアプリをインストールし、ご使用中は アプリを起動しておく必要があります。



1

本書の内容は、予告なく変更する場合があります。また、アプリのバージョンアップ等により本書と実際の画面 とは異なることがあります。

Bluetooth[®] のワードマークは、Bluetooth SIG, Inc. の登録商標です。 App Storeは、Apple Inc. のサービスマークです。 Google Play、Google Play ロゴ、Android™ は、Google Inc. の商標または登録商標です。

スマートフォンと接続する

落水検知ユニットの操作

スイッチを5秒以上(LEDが短く3回点滅するまで)長押しし て電源をONにします。電源ON状態で、スイッチを短押しする とLEDが短く3回点滅すること(落水未検知を意味します) を確認します。この状態の落水検知ユニットのそばで、次のス マートフォンの操作を実施します。

<u>スマートフォンの操作</u>

- ① 画面下のメニューバーから「ユニット」をタップします。
- ② マイユニットの「+」をタップします。
- ③ スマートフォンのbluetoothをONにし、スマートフォンとユ ニットを10秒程度タッチしてください。
- ④ ユニットIDを選択し、「選択したものを登録」をタップします。
- ⑤ 落水検知をテストする場合は「テストする」を、テストせずに ユニット登録をする場合は「とじる」をタップします。





3

2

見守り通知先設定を行う

A. ご自身のスマートフォンの操作

- ① 画面下のメニューバーから「見守り」をタップします。
- 1.2.「見守り通知先の依頼を送る」をタップします。
- ③ メッセージを送るアプリを選択し、通知先に指定したい方に メッセージを送信します。
- ④ 登録が完了すると見守り者加入のプッシュ通知が届きます。
- (5) 見守り通知先に名前とユーザーIDが表示されることを確認 します。

B. 見守り通知先のスマートフォンの操作

- 受信したメッセージのURLをタップします。
- 2 見守り対象登録にてユーザーIDを確認し、「登録」をタップ します。
- 3 見守り対象に追加されていることを確認してください。



手順A.② 見守り通知先依頼画面

41

手順B. ❸ 設定完了画面

5

7

落水検知ユニットのお手入れ方法

- ① 海水がユニットに付着した場合は、電源を切った後、蛇口 から弱めの水流で濯ぎ、乾いた布で水を拭き取ってください。
- ② ①で塩分が落ちない場合、10分間程度 水道水につけ置 きしてください。
- ③ ①と②を行っても、汚れが落ちない場合には、薄めた中性 洗剤を含ませた柔らかい布で、落水検知ユニットを優しく 拭き取り、水道水で濯ぐよう、お願いします。



長時間使用しないときは電池消耗を防ぐため電源を切っ てください。電池残量の目安はJM-Safetyアプリで確認 できます。

ユニットを廃棄する際は、各自治体の規則に従って処理 してください。詳しくは、各自治体にお問い合わせください。

落水検知を試してみる

- ① 落水検知ユニットの電源がONであることを確認します。
- (2) ボウルや計量カップ等に塩水をためてください。
 - 塩水の目安:1カップ(200ml)の水道水につき、食塩小さじ1杯(6g) ► 海水でのご利用を想定しているため、水質によっては検知しないことがあります。
- ③ 画面下にある「ユニット」をタップします。
- ④「落水検知を試す」をタップし「テストする」を選択します。
- ⑤ 画面下にある「船どこ」をタップします。画面上に表示さ れている手順に従い、テスト通信を開始してください。
- ⑥ 落水検知テストモードが有効になったことを確認し、落水 検知ユニットを貯水に入れ、手を放します。数秒後、ご自 身のスマートフォンと見守り通知先のスマートフォンに落水 通知が届くことを確認します。
- ⑦ 通知が確認できましたら、画面上に表示されている手順 に従い、落水状態を解除してください。見守り先に解除通 知が届くことを確認し、テストモードを終了してください。



ーー 手順④「落水検知を試す」画面 手順⑥ 落水通知(見守り通知先) 6

ご利用のヒント

落水検知ユニットとスマートフォンは、ネックスト ラップ等を利用し、首から掛けてご利用いただくと、 比較的 落水検知しやすくなります。スマートフォ ンは防水ケース等を活用することで水から守るこ とができます(その際、落水検知ユニットは防水 ケースに入れないよう、ご注意ください)。なお、 水中では電波が伝搬しにくいため、落水検知ユ ニットやスマートフォンをポケット等に入れて落水 した場合、検知や通知ができないことがあります。



保証について

製品ご購入後すぐに、本体等に損傷がないことをご確認くださ い。落水検知ユニットの初期不良につきましては、ご購入日か ら90日以内に別紙保証書の手順に従い、JM-Safetvサポー トセンター宛てにご連絡ください。詳しい内容については別紙保 証書をご確認ください。また保証書は大切に保管ください。

お問い合わせ

ご質問や詳細情報、お問い合わせ等は、 JM-Safety サポートセンターまでアクセスください。 https://www.jmarinesafety.jp/support



本書や詳細な取扱説明書、ユーザーマニュアルは 下記URLからご覧いただけます。

https://www.jmarinesafety.jp/user_data/manual



日清紡ホールディングス株式会社 Copyright © Nisshinbo Holdings Inc. All Rights Reserved.